

# 同窓会報

Vol.57

発行：2013年7月1日 第57号  
横浜市立南高等学校  
・附属中学校同窓会  
事務局：電話 045-822-1910  
FAX 045-826-0818  
URL <http://nanko-ob.com>

## 南高同窓会の基礎を固める

同窓会 会長 石川 直弘（9期）

東日本大震災から2年半が経とうとしています。しかしながらまだ31万余の方々が仮設住宅住まいを余儀なくされています。一日も早い復興を願わずにはられません。今度の震災では、ご近所との日ごろからの付き合いや親せきとの頻繁な連絡、地域での活動仲間とのかわりなど、常日頃からの「絆」の大切さが再認識されました。

震災直後のテレビ報道で、「見渡す限り瓦礫の山です…」という言葉聞いた婦人が「瓦礫なんかじゃないわ。家族の思い出が詰まった山です」とつぶやきました。それを隣で聞いていたバイオリン作者で夫の中澤宗幸さんは、津波で壊された家の天井のはりや床の木材を使って3挺のバイオリンを作りました。このバイオリンは「震災バイオリン」と名づけられ、10年間で千人にリレーで弾いてもらう「千人の音色でつなぐ絆」プロジェクトとしてスタートしました。これまでに黒沼ユリ子さんから世界的なバイオリニスト約130人がこの楽器で演奏会を開き、支援活動に参加しているそうです。

南高同窓会はまだ基盤作りの段階で、支援活動までは手が回らない状況ですので、まずは同窓生の絆を深める事業を行い、大きな輪を作っていきたいと考えています。その一環として、今年から2年ごとに総会を開きます。総会開催通知とともに全会員に同窓会報をお送りして、同窓の活動状況や南高、附属中の状況をお知らせします。このことが南高卒業生としての絆の一助になればと思います。

平成24年度は南高祭への参加や、清掃隊、二十歳の同期会、各期同期会や部活OB総会の奨励など同窓会の活動を活発にする取り組みを行ってきました。3月には附属中の開校記念樹として、東大小石川植物園より譲り受けた「ニュートンのリンゴの木」を贈りました。植樹祭は読売新聞、神奈川新聞、地元タウン誌に取り上げられ母校のPRにも一役買いました。今後とも同窓会理事を中心にして、このような活動をさらに広げてまいります。

ところで、別刷り「寄付のお願い」にもありますように、南高同窓会は卒業時に頂く終身会費のみで運営されております。活動を活性化し、年々増え続ける会員に対応するためには皆様からの資金援助が不可欠の状況でございます。同窓会の発展と母校支援の充実のために皆様の積極的なご協力とご支援をよろしくお願いいたします。



## 校長あいさつ

南高等学校 校長 鈴木 英夫

はじめまして、平成25年4月1日に着任した鈴木英夫と申します。私は、横浜商業高校で国際学科の立ち上げをして、横浜総合高校勤務を経て、教育委員会で高校担当の指導主事をしていました。その後、横浜市立神奈川中学校校長として平成21年から4年間中学校勤務をしていましたので、高校現場は8年ぶりです。伝統ある横浜市立南高等学校の校長を拝命し、しかも選ばれて横浜市初の公立中高一貫教育校としての歩みの途上にあるということで、大変緊張しております。



明日ありと 想う心の あだ桜 夜半に嵐の 吹かぬものは 親鸞

これは、親鸞が得度するために青蓮院の慈円のもとを訪れた時の和歌です。すでに夜は更けて、得度には時間もかかり、たくさんのお弟子を集めなければならないことから、「もう遅いから明日にしよう」といった慈円に、わずか9歳だった親鸞が詠んだとされています。「明日また見ようと想った桜が夜の嵐で散ってしまうかもしれない。だから今すぐ得度をしてください。」という決意を語ったものです。4月の桜をみると、親鸞の歌に表現されたような、高校生時代の不安や期待の入り交じった気持ちを思い出します。自分が都立高校の学生だった頃の4月、美しく咲く桜を見上げた時の、何か潔癖で切羽詰まった気持ち、不安なような、期待を感じるような、決意をして進まなければならないような気持ちを思い出します。南高という場で、生徒達が学問や、友人と出会い、自分自身に気づき、勇気を持って自らの人生を切りひらいていく力を持てるような学校づくりに努力したいと想います。



## 着任のご挨拶

南高等学校 副校長 手島 史喜

この度鶴見区鶴見中学校から着任いたしました手島と申します。これまでは全て中学校、大鳥・上の宮・鶴見と三校を経験し本校で四校目となります。自主自立の精神を旨とし、世に多くのリーダーを輩出してきた南高に勤務できることを光栄に思うと共に、責任の重さを深く受け止めております。南高のさらなる充実発展のために微力ではございますが、精一杯取り組む所存です。よろしくお願い致します。

さて、今年の春先は非常に暖かく、くすのき広場の枝垂れ桜も例年になく早い葉桜となりました。この躍動感あふれる四月に本校では百六十名の中学一年生と、二百名の高校一年生、あわせて三百六十名の新生を迎えました。南高は今、併設型中高一貫教育校として大きな変革の節目を迎えております。本校の生徒たちが充実した毎日を送ることができるよう学校の整備に励んで参りたいと思います。同窓会の皆様にもさらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## 離任にあたり

前南高等学校 校長 菱刈 範之 (19期)

私は、高校生、教諭、管理職とそれぞれの立場で南高に関わりました。

南高生としての3年間は、時間を巻き戻せるなら「あの頃へ」と思える良き時代でした。しかし、戻りたいのは決して十分に成果を上げた満足感のある時代であるからではなく、むしろ勉強も部活動も「やり残した・中途半端」な思いが強く残っているからなのだと思います。限界まで挑戦したかどうかの思いは強くあります。やれば何とかなったかも知れないとか、そんな甘くはないよとか、いろいろな思いが交錯する遠い過去の時間です。

教諭時代は素晴らしい生徒に恵まれ、33期と37期で2回の卒業生を出すことができました。若さだけで何の指導技術も持たない粗削りな教諭でしたが、今でも一緒に酒を飲み、共有した時間を語る仲間をたくさん得た充実した時間でした。

そして管理職として3年間は、周りの評価はそれぞれでしょうが、自分の持っているものは全て出し尽くしたという満足感のある時間となりました。力不足は否めず、結果的に教職員を振り回し迷惑をかけた思いは強くありますが、仕事に悔いを残すことはありませんでした。

同窓会の皆様には、いつの時代にも大変お世話になりました。これまで、至らぬ私を支えていただけたことに感謝し改めてお礼を申し上げます。



## ニュートンのリンゴの木

理事 山田 裕之 (26期)

平成25年(2013年)3月14日 横浜市立南高等学校附属中学校の開校記念樹として同窓会は「ニュートンのリンゴの木」を贈り、植樹式を行いました。

およそ340年前に、ニュートンが万有引力の法則を発見する元となったとされるリンゴの木を接ぎ木したものが、東京大学小石川植物園内で栽培されていました。この木から接ぎ木した苗木一本を石川会長の尽力により東大から譲り受け母校に寄贈しました。

正門上の駐車場脇の緑地に植樹された苗木は、まだ細くてたよりのないですが、数年後に赤い実をつけて(落として!?)くれるのが楽しみです。その時はまた報告します。





## 「古稀の会」開催

米山 潔 (5期)

南高5期生の「古稀の会」を2012年10月27日に、旅館松島で行いました。晴渡った秋空の下、参集したのは86名です。うち恩師が2名、同窓会役員4名に加えて、菱刈校長、高橋校長と近藤前校長をお招きしました。恩師の一人は鹿児島から来られた松下先生で80歳ながらとてもお元気です。

最初の同期会が46歳の秋で22名参加でした。今回が9回目です。やはり、同期会は45歳～70歳が旬なのでしょう。今回をもって、全員連絡の同期会を終了することにしました。

話題は何といっても中高一貫校の現状と行く末です。3名の校長招待はそれを聞いたかったのです。我々の思いは一つです。同期生は南高で生まれたことに感謝し、南高が良い環境を作り、明日を担う若者を育成して欲しい、と願っています。地元交流に南高祭を公開し、同窓会展示室を設けたのは、画期的と評価しています。

松下先生曰く「毎年同期会を開け！」は重く困っています。

松島の女将・12期生の嶋田紀子さんに甘え、一次会・二次会合わせて6時間も楽しみました。



## 「10期生同期会」開催

工藤 昌代 (10期 7組)

第2回となる同期会が6月16日(土)午後5時より、ロイヤルホール・ヨコハマにて120余名の参加者にて開かれました。幹事35名も2回目ということもあって、気心も知れスムーズに準備完了。

今回の目玉は何といっても我が南高後輩の真打女流講談師、『神田阿久鯉』登場の第1部です。歯切れのよい語りが始まると会場はしーんとなり、案の定その素晴らしい講釈に引き込まれ、感動・歓楽の時間を味わせていただきました。(生の講談初めてという人が殆どでした。)

第2部は楽しい会話と飲食、クラスを越えた交流も広がり会は弾んでいきました。しかし中には男子組だけで孤立していた所もあり課題が見えたような気がしました。次回の同期会は席順をどうするかでまた違った楽しい同期会が開けるのではないかと思います。

「オリンピックの年にまた会いましょう」の合言葉が「4年後も元気で生きていようね」にと、さよならの挨拶に変わっていました。みんなーそれまで元気でいてねー！！



熱演する神田阿久鯉さん (30期)



## 13 期同期会

佐藤 (旧姓・山田) 加代子 (13 期 1 組)

2012 年 10 月 6 日 (土) 南高 13 期同期会が、横浜は関内のホテルで開かれました。夏季オリンピックと同じ年に開催しています。

9 クラス 450 人の同期生のうち、今回の出席者はちょっとさびしい 78 名。60 歳を超えた今回はもう少し大勢の集まりを期待したのですが、孫の世話にでも借り出されているのでしょうか？

でも、卒業以来初めての参加の方もいて、2 時間があったという間に過ぎ、同じホテル内の二次会場へほぼ全員が大移動。その後も楽しい時間が過ぎていきました。

最後は恒例の応援団によるエールで締めました。今回は三次会に行かれた方は少なかったとか。次回 4 年後に、また会いましょう。今回以上の参加を期待しています。



## 6 年ぶりの 14 期卒業生「還暦の会」開催

金子 隆史 (14 期)

5 年刻みの節目で開催している 14 期同期会は 1 年延長の平成 24 年 9 月 9 日 (日) に「還暦の会」と銘打って、関内北口より徒歩 5 分のパセラリゾート関内店 3 階のグレースバリ パーティー会場で恩師の先生含め総勢 93 名にて開催致しました。恩師の松下祐子先生、石原洋二先生、蕪木秀敏先生、石川英治先生、同窓会の石川直弘会長のご出席を頂き、来られなかった先生方からも多数のメッセージを頂戴しました。

1 次会の会場は、BGM と一緒に南高 50 年史の DVD をスクリーンに流し、懐かしい南高の様子を堪能して貰おうと思い上映しましたが、参加者はそれを見聞きする暇もなく、6 年ぶりの再会で盛り上がりっ放しで、会話している相手の声も聞き取れないほどでした。胸の名札を見ないと解らないくらい変わってしまった級友が居たり、この日の為に鹿児島県青島より参加してくれた級友が居たりと思った以上に参加者が前向きであった事が大変嬉しく感じました。

開会宣言に始まり、幹事挨拶、黙祷、同窓会の石川直弘会長挨拶、松下祐子先生による乾杯の音頭で最高潮に宴が盛り上がり会食・歓談と大宴会が始まりました。途中ご来賓の先生方の挨拶があり、更に盛り上がると同時に店側より「還暦の会」への贈り物として大きなスイーツケーキ (写真) の差し入れがあり、ケーキと一緒にクラス毎の思い出写真を撮った事は、その日の突発イベントになりました。ケーキは、9 等分して各クラスで食したのは言う迄もありません。宴もたけなわの中、ビンゴゲームを行いました。商品を取る為の目の輝きは、還暦とは思えない若さを感じ取る事が出来ました。



一次会の最後に、南高校の校歌を 7 組の杉本コンダクターのもと、全員で 3 番迄合唱しました。幹事長からの終宴の挨拶があり、短い時間でしたが昔の級友が一同に介し思い出話に花が咲いて有意義な 1 日であった事を互いに認識し 4 年後の再会を誓って、興奮状態のまま二次会会場に移動しました。クラスに関係なく三次会と深夜まで続いたようです。

2016 年には、「還暦の会」を改め第七回 14 期同期会を開催する予定です。

## 18 期同窓会

岡野 光延 (18 期 事務局長)

18 期は 10 月 13 日に第 5 回の同窓会を開催しました。参加者数は 100 名でした。4 年に一度、夏季五輪開催の年に行なうことでスタートした 18 期同窓会。前回から今回までの間に他界した仲間を偲んでの黙祷。続いて元気に再会できたことを讃えあつての乾杯となりました。3 組担任であられた高見澤先生のご挨拶、落研の部長を勤めた立川亭ポランこと森くんの落語、4 年前に予想を立てた「五輪メダル数当て」の的中発表、ピンゴ大会等々の企画を行ない、楽しく語らう時間を過ごすことができました。

クラス別の記念撮影の後、司会者の提案で行なったのが「あの人とツーショット」。希望者が登壇し、二人で写真を撮りたい相手を指名して写真に納まるというものです。勇気ある男性がかつて思いを寄せた女性に声をかけ、何組かがツーショットを成し遂げました。女性が男性を呼ぶというのもありました。本人たちはもちろん、周りも大きく盛り上がった企画となりました。ぜひまた行ないたいとの声が多くありました。二次会も半分以上の面々が参加してくれました。

次回第 6 回は多くのメンバーが還暦を迎える 3 年後と決めました。たくさん仲間たちと再会できる 2015 年を楽しみに、また準備を始めてゆきたいと思えます。





## 20期同期会報告

植木 令子 (20期)

2007年5月の第1回目同期会より5年が経ち、予定通りオリンピックイヤーの今年、第2回目20期同期会が、10月27日、「パセラリゾーツ関内」で開催されました。

参加者は121人と、第1回同様100人を超え、5年ぶりの再会もあれば、初めての参加でとても懐かしく顔を合わせる方々も見られ、賑やかで楽しい会が催されました。

会場は全体的に照明が少し暗めでしたが、かえってそれがスポットを浴びたステージを浮き立たせ、式を進める幹事の方々の挨拶から、先生方のスピーチ、そしてギターの弾き語りに各クラスの近況報告へと、演出効果にもなって会が盛り上がりを見せて行きました。

人生の若く多感な時代を共に過ごした事が新鮮に思い出され、それぞれが歩んで来た人生をお互いに尊重し合うような、そんな暖かさを感じながら、そして何より気持ちが若返るような、とても素敵な時間を過ごす事ができました。

その後の幹事会では、次回へ向けての話し合いが進められ、20期同期会の代表として同窓会の理事を4組の内藤一彦さん、同期会会長を5組の稲葉豊さんが引き受けて下さる事になりました。そして次回の開催は5年後の2017年、60歳の節目に決定。それまで幹事の方々が年1回集まり、南高20期のつながりがより一層強いものになるよう、交流を続けていくことになりました。

同期会幹事の皆様、そしてご出席下さいました松下先生、石原先生、本当にありがとうございました。今回お会い出来なかった先生方、皆様との次回再会を楽しみにしつつ、皆様のご健勝を心よりお祈りいたします。



## オリンピックイヤーの23期同窓会

須見 直彦 (23期)

23期同窓会はオリンピックイヤーに催されることが定例となりまして第三回がホテルプラム横浜にて2012年6月16日に開催されました。

定例的になったことで今まで連絡が取れなかった人や遠方に引っ越された人も多数参加いただくようになり今回も懐かしい顔触れが揃うことができました。また、蕪木先生、常木先生、前田先生、同窓会からは菊地晶江さんにご参加いただき誠にありがとうございました。

今回初の試みとしてランダムに組んだグループでテーブルを囲んでいただく「テーブルトーク」を行いました。高校時代は話したことの無いメンバーが同席となるため幹事側では「会話が弾まないのでは」と心配したのですが全くの杞憂でした。高校の話題を皮切りに最後はテーブルごとに集合写真を撮るまで大いに盛り上がる事ができました。さすがは同期ですね。



フリートーク中心の会となりましたのでじっくりと旧交を温めることができたはずなのですがやはりそれでは足りずそれぞれのクラスで2次会となったようです。

次回も4年後に開催する予定です。また皆様と元気に再開できることが楽しみです。

## 卒業20年目、二部構成の同窓会

井上 (旧姓・白砂) 有希子 (37期)

2012年11月23日、38歳になる37期は、成人式当日の同窓会以来18年ぶり2回目の同窓会を開催しました。卒業してちょうど20年の節目という事もあり、昼と夜の二部構成で大々的に行いました。

約60名が参加した昼の部、懐かしの校舎をめぐる「南高ツアー」は、子供連れの参加者も多く終始和やかな雰囲気の中、現在の南高校長である恩師菱刈先生に校舎を案内していただき、二年生の時に現在の新校舎が完成、卒業式で体育館がこけら落としだった私達は、今見ても立派な校舎に歓声を上げながら同時に思いを馳せました。

夜の部は、みなとみらいからチャーター船で会場となる新山下のBay Side Yokohamaまで移動、約200名が参加し9名の先生方にもお越し頂きました。当時の写真上映に始まり、南高〇×クイズ、本日のMR&MS南高の投票(1位の男女は制服を着て記念撮影)、参加者が自由にPRするなんでも掲示板、なんと3組もいる同級生同士結婚したカップルをサプライズで祝福&記念品贈呈、最後は全員で校歌合唱とイベントも盛り沢山で5時間に渡る会もあっという間に終わってしまいました。参加者からは「やっぱり南高っていいね」という声があちこちから聞こえ、春頃より活動した約40名の幹事の感慨もひとしおでした。これを機に、五輪の年ごとに同窓会を開くこととなり、クラス毎の同窓会も順次企画されているようです。今回の同窓会開催にあたり大変ご協力いただいた菱刈先生、南高同窓会の石川様、菊地様、ありがとうございました。





## いっぱいのお運び厚く御礼申し上げます

理事・落研OB 小林 保(17期)

さる(猿ではありません) '13年6月16日(日)朝からの雨も上がり日射しも出始めた午後4時より、蒔田のかの(蚊ではありません)『旅館松島』にて、今回80回にもなる人気の「松島演芸会」の中の一つの催しとして南高落語研究部OB会有志と特別ゲストによる「南寄席」(旧称)が開演されました。

お囃子がなり、太鼓が打たれ(臨場感あふれる録音ものですが…)、開口一番は『旅館松島』の女将の島田紀子さん(南高12期)の軽妙な小噺(ではないですが)風味の旅館の話、演芸会のあらし等で会場が沸きます(ワーっ)。

落研OBイの一番、荻原君(同22期)、女将に上げてもらった高座の温もりも怪しげ?な坊主頭の紋付羽織はちょっと怖い?ちょっと冷める?しかし、わずかな語り数で会場は面白感到満ち、流暢に語られる「鮑のし」の与太郎のやり取りにグッと引き込まれます(腕上げたなァ…会場の某OB談)。

中入り前、シャレではないですが中瀬古さん(同13期)、江戸っ子噺の最高位?「浮世床」の江戸の床屋の待合という見たこともない場面をなぜか思い浮かばせるワザは現役の頃からの名人芸(本物?プロ?…会場の数人のお客様談)。

中入り後、小川シゲル氏(ゲスト)のマジック、近くで見ても不思議な驚きは多少のステージ段差のガタツキの心配もよそにお見事っ!

さて、当日多忙にも係らず快く素人の落語会の出演依頼に快諾して頂きました春風亭柳朝師匠(特別出演)の高座です。OB陣よりもお若いながらさすがプロの笑い。熱演ありがとうございました。

大トリは見た目も所作も落語家風、森君(同18期)の、「夢の酒」で夢の中のモテ話に嫉妬する奥方と若旦那、大旦那のやり取りを巧みに語り分けます。年齢と経験を重ね、重厚かつ巧妙になってます。(会が締まったな…全OB談)

今回、この会を運営して戴いたスタッフの皆様、この南寄席に足をお運び戴きましたお客様に厚く御礼申し上げます。今後も恒例とさせて戴けますよう精進いたします。またお会いできる日までさようならわ(奈良輪君(17期)ではありません)。12代古本亭貧生でした。



## OB紹介

### OB紹介

同窓会 会長 石川直弘(9期)

平成24年の後援会旅行は群馬方面でした。計画を進めているとき、菱刈校長から草津温泉ホテル高松の若女将として本校の卒業生が嫁いでいると知らされました。後援会の皆さまもそれならぜひ泊まりたいということになり、宿泊先はホテル高松に決定しました。

ホテル高松は草津温泉湯畑のすぐ近くにある老舗旅館で、規模も大きく、ゆったりと過ごすことができました。35期の山本陽子(旧姓井腰)さんは二人のお子さんを育てながら、大旅館の若女将として奮闘されており、私たちにも大変な気遣いをしてくれました。同窓の皆さんも草津に泊まる時はぜひともホテル高松をご利用になり、若女将の素敵な笑顔と対面してください。



#### 【山本さんから投稿のお手紙】

昨年8月には遠路を群馬県、草津温泉ホテル高松にご来館、ご宿泊を賜り、誠にありがとうございました。こちらでは当たり前の気候ですが、今年は庭でかまくらが作れるほどの積雪で現在は一面銀世界です。

ご来館の際には石川会長様、私の現役の頃と変わらない菱刈校長様をはじめ、後援会の皆様、私の同級生のお母さま方ともお会いすることができ、本当に懐かしく、また、覇気ある皆様に元気を頂きました。

旅館に嫁いで十数年ですが、南高卒であるから寄ってくださる同級生や、ご支援くださる旅行エージェントのOBの方もいっしょに、改めて南高卒生であることに感謝しています。震災をバネにして、浴場の改装、従業員スタッフの改革、太鼓隊の結成、私は子育てで見守るだけでしたが、どんな事をしたらお客様に喜んでいただけるのか、工夫しながら盛り上げていきたいと思っております。

平成25年3月1日 35期 山本陽子



## 57期同期会

新年度が始まり約2ヶ月が経った5月19日に、同窓会主催で今年卒業した57期生の同期会が南高校食堂で行われました。

今年は、なんと205名もの卒業生が参加し、例年をはるかに超える参加人数となりました。一昨年の参加人数が92名ですので、その多さがわかるといえます。これも、同窓会理事の地道な声掛けが実った成果と、各学級担任の先生方をはじめ南高の職員の皆様のご協力の賜物です。この場をお借りしてお礼申し上げます。57期は同窓会加入率も88.4%と近年稀にみる加入数で、理事一同嬉しい限りです。

多くの卒業生で賑わった57期の同期会は、甲高い笑い声が会場に響き渡り、始まる前から大盛り上がりでスタートしました。はじめに、同窓会長と吉田校長代理のご挨拶をいただき、その後はおいしい食事とともに歓談。新しい生活や高校生のときの思い出などの話は尽きず、食事を食べることも忘れて歓談に夢中になっていました。出席していただいた先生方も、変わらず元気な生徒の姿をみて「来てよかった」とおっしゃって頂きました。

恒例のビンゴ大会を経て、駆けつけていただいた鈴木校長先生の挨拶をいただき、最後に約200人みんなで記念撮影をして57期の同期会はお開きになりました。次の同期会は2年後の「二十歳の同期会」です。またひとまわり成長したみなさんと顔をあわせるのが楽しみです。



## 54期二十歳の同期会

昨年11月17日大雨の中、南高54期同期会が関内で行われました。54期は20人弱と、大変少ない人数の参加となってしまいましたが、とても価値のある、楽しい同期会になりました。また、私たち54期のために南高の歴代の先輩方が多く足を運んでくださいました。普段はなかなかお会いする機会がありませんが、何の隔たりもなくたくさん声をかけてくださり、私たちはたくさん刺激を受けることができました。そして、乾先生が来てくださり、話をする事ができたのと、先生の変わらない笑顔を見ることができて、南高での思い出が頭を何度も過りました。

また、私個人としては、高校時代はほとんど話をしたことの無い同期とも話すことができ、また新たな出会いのある場となりました。

内容としては、乾杯から始まり、自己紹介、OB・OGさんからのお話、ビンゴ大会やビデオ上映と盛りだくさんであっという間に時間が過ぎていきました。最後に校歌を歌ったのですが…正直、うろ覚えでした。考えてみると、私たちが合唱コンで歌ったのは2番だったのですね。2番だっ

たら完璧だったかな？と言いつける姿もありました。

以上のように、3時間という短い時間でしたが、とても有意義な時間を過ごすことができました。これからも南高で過ごした日々を忘れずに、仲間を大切に、過ごしていきたいと感じています。今回、この54期同期会を企画、運営して下さった同窓会の先輩方、本当にありがとうございます。この場をお借りして心より感謝を申し上げたいと思います。





## 南高祭 展示の部に出店

同窓会副会長 山形 和弥 (18期)

ついに南高同窓会として今年(平成24年)の9月22日・23日の南高祭に出店できることが叶いました。

ここからが大変、今まで出店の経験もなく、どんなものにしていくか、準備期間もあまりないし、とにかく同窓会として現役中高生徒並びに父兄、卒業生に広く認知してもらうには…宣伝・宣伝また宣伝という認識の下で進めました。

ちょこっとホッとできるスペースにお菓子と喫茶のサービス、基本はこれで決定。更に同窓会ならではのもの、そう歴代卒業生の卒業アルバム一挙閲覧可能、それから南高の誕生秘話から現在までの年表、部活動紹介、南高マップ(上大岡中心に南高卒業生が携わるお店等の紹介)などなど…と企画目白押し状態で8月を迎えました。あと1ヶ月でどこまで出来るのかという不安もなんのその、各理事の役割分担確認後すぐに行動へ。

あとは名称と看板書きだ、もうこれは「想い出箱」にすぐ決定。当日石川会長に毛筆にて作成していただきました。

お盆明けから、山崎理事を中心とした壮大な手書き年表の製作(優に15メートルほど)、比留川理事を中心に南高マップの製作これも手書きです。粕谷理事によるやはり手書きで、野球部・応援団の部活動紹介、その他、「歴代の校長先生の紹介」など、最初にしては具だくさんというところでしょう。ここが南高卒業生の良いところなどと、DNAは歴代受け継がれているかのごとく行動しました。お菓子や喫茶は、菊地理事、岩本理事に高田理事を中心に手早い手配で当日を迎えました。当日、尾崎理事、山田理事の手際よい会場準備・案内。二日間で、なんと約800人以上の方々にご来店していただき、大盛況でした。やはり歴代アルバムが閲覧できるということは、同窓会こそその企画であり、開いた瞬間にタイムスリップし浸れる心地よさ。二日目は現役生徒による口コミでの思いもかけない集客効果があり、更に廊下の壁から室内の壁一面に貼られた手書きの壮大な南高年表(卒業期及び卒業人数記載)は、来店する方々は元より現役の生徒には手書きの年表というものがたいへんな驚きようで好評でした。そんなこんなの2日間の大忙しでした。

今回の出店を顧みて来年度はより魅力ある同窓会「想い出箱」として出店させていただこうと新たなプランを模索中です。同窓生の皆様何か良いプランがありましたら一報お願いいたします。



## 通学路清掃活動

理事 粕谷 正伸 (26期)

平成24年度は、11月10日と3月16日の2回、南高生の通学路に感謝をこめて実施しました。両日もその季節としては、暖かく穏やかな天候に恵まれ「清掃日和」でした。

11月は金子副校長にお見送りしていただき、3月は二日前に植樹したばかりの「ニュートンのリンゴの木」の前で記念写真を撮ってから出発しました。

コースは前回と同じく南高正門前を出発し、久保坂をくだり上大岡中央商店街のアーケードを抜けたところを終点としました。

参加人数は11月が理事9名、3月が理事9名に5期、6期の卒業生の方が3名“友情参加”していただきました。回数を重ねてきましたのでみんな要領よくゴミバサミを使ってゴミを拾い集めながら歩きました。途中、地元に住むOBや下校中の現役生徒たちから何度も激励の声をかけていただきました。いずれは理事以外にも活動の輪を広げていきたいという計画もあります。とは言うものの、道路は意外と綺麗(たばこの吸殻は非常に多い)で、今の参加人数とゴミの量が釣り合っているため、コースを増やすなどの工夫が必要と思われる。

集めたゴミの処理は、26期山田理事の経営する造園会社にお願しました。これからもご厚意に甘えてよいのかは今後の課題として残るところです。

作業終了後には簡単な理事会を行ったあと中華料理店で打ち上げをして盛り上がりました。





## 平成25年度歓送迎会の模様&母校の現況

理事 比留川 秀一(23期)

平成25年5月31日上大岡京急ビル10階の『京都福ろく寿』にて、母校管理職の先生方ならびに同窓会担当の先生方の歓送迎会(会費制)を開催いたしました。

今年度は4月に着任されました南高校長鈴木秀夫先生と、同じく4月に着任されました南高副校長手島史喜先生をお迎えしました。また来賓として附属中学校長高橋正尚先生と南高校長代理吉田信幸先生と附属中学副校長小藤俊樹先生に出席していただきました。同窓会からは11名が参加し約2時間半の会では、出席者全員がご挨拶と発言の機会があり、先生方からは学校の現況を、同窓会からは母校に対する思いや初期の頃の南高のお話もあり、お互いの交流を深める非常に有意義な時間となりました。

中でも今年2年目を迎えた附属中学の説明では、競争率約10倍という難関校で世間の注目度も非常に高くなっており、私たち卒業生からみると有名大学への進学を目指した受験勉強主体の学校になってしまうのではないかと心配もありましたが、これを見事に払拭してくれるものでした。

一例を挙げますと Explore (さがす)・Grasp (つかむ)・Grow (のびる)、の頭文字をとった『EGG』と呼ばれる総合的な学習の時間を通して生徒たちは「高い学力」、「豊かな人間性」を身につけることができるということです。これは卵が孵化するまでの過程に見立て、附属中での3年間の生活で力を蓄え、それを高校で各自の目標に向けて発揮し6年後に大空へ羽ばたいていって欲しいという願いをこめて名付けられたそうです。実際に最初の1年間を過ごした生徒たちの学校生活の満足度は97.5%にのぼり、県内の公立中の70.2%(平成22年度ベネッセ教育研究開発センター調べ)を大きく上回っています。その他の項目についても高い数値が出ています。また部活動等もとても積極的に行われており、横浜市内の大会やコンクール、作品展などで優秀な成績が収められています。

このように私たちの心配をよそに、母校はこれまでの南高のDNAを受け継ぎながらも確実に未来へ向けて進化し続けているようです。

そして今回の歓送迎会を通して先生方の南高、附属中学に対する熱い情熱と強い誇りが感じられました。同窓生としてとても嬉しいことです。「これからも母校をよろしく願います。私たちも応援し続けます。」という気持ちでいっぱいです。



## 総会のご案内

### 平成25年度 横浜市立南高等学校・附属中学校同窓会総会

横浜市立南高等学校・附属中学校同窓会会則第22条1の規定により、下記のように総会を開催いたします。会則並びに別紙総会議案書をご確認いただき、是非ともご参加くださいますようお願い申し上げます。

同窓会会長 石川直弘

記

- 日時 平成25年9月1日(日) 午後1時半受付開始 午後2時開会  
 会場 南高校管理棟3階大会議室(当日案内板を設置します)  
 内容 別紙議案書をご覧ください。

なお、総会終了後、大会議室にて茶菓による懇談会を予定しております。



# 会計報告

## 平成24年度収支計算書要旨

(平成24年4月1日から平成25年5月31日まで)

横浜市立南高等学校・附属中学校同窓会  
(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 収入の部			
1 会費収入	[ 3,400,000]	[ 3,407,000]	[ -7,000]
2 寄付金収入等	[ 50,400]	[ 96,054]	[ -5,654]
当期収入合計(A)	3,450,400	3,503,054	-52,654
前期繰越収支差額	9,610,404	9,610,404	0
収入合計(B)	13,060,804	13,113,458	-52,654
II 支出の部			
1 事業費	[ 2,282,000]	[ 2,313,851]	[ -31,851]
2 管理費	[ 382,000]	[ 479,377]	[ -97,377]
3 予備費	[ 100,000]	[ 0]	[ 100,000]
4 固定資産取得支出	[ 0]	[ 0]	[ 0]
当期支出合計(C)	2,764,000	2,793,228	-29,228
当期収支差額(A)-(C)	686,400	709,826	-23,426
次期繰越収支差額(B)-(C)	10,296,804	10,320,230	-23,426

(注記) この収支計算書は、「公益法人会計基準(平成16年改正)」によって、作成している。

## 正味財産増減計算書要旨

(平成24年4月1日から平成25年5月31日まで)

(単位:円)

科 目	金 額		
I 増加の部			
1 資産増加額			
当期収支差額	709,826		
小 計		709,826	
増加額合計			709,826
II 減少の部			
減少額合計		0	0
当期正味財産増加額			709,826
前期繰越正味財産額			9,610,404
期末正味財産合計額			10,320,230

## 貸借対照表要旨

平成25年5月31日現在

横浜市立南高等学校・附属中学校同窓会  
(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	10,320,230		
流動資産合計		10,320,230	
2 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0		
(2) その他の固定資産			
その他の固定資産合計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			10,320,230
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計			0
III 正味財産の部			
正味財産			10,320,230
(うち基本金)			( 0)
(うち当期正味財産増加額)			( 709,826)
負債及び正味財産合計			10,320,230

なお、上記会計報告は同窓会監事 北見 昭八(10期税理士)、荒川 尚美(30期)両氏による監査を受けております。

## 計算書類に対する注記事項要旨

### 1 重要な会計方針

#### ① 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収金、未払金、仮払金、前払金、前渡金、前受金、立替金、預り金及び未収利息を含めることとしている。

### 2 会費収入の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

期 別	内 訳	金 額	摘 要
54期	同期会費収入	129,000	20歳の同期会
54期	同窓会入会金	10,000	
56期	同窓会入会金	436,000	
57期	同窓会入会金	2,832,000	
合 計		3,407,000	

### 3 当期は平成24年4月1日から平成25年5月31日までの14ヶ月の事業年度である。



# 横浜市立南高等学校・附属中学校同窓会会則

## 第1章 総則

第1条 (名称) 本会は横浜市立南高等学校・附属中学校同窓会(通称 南高同窓会)と称し、本部を同会会長宅、事務所を横浜市立南高等学校・附属中学校(以下母校という)内に置く。

第2条 (目的) 本会は、会員相互の親睦を図り、その福祉を増進し、併せて母校発展に寄与する。

第3条 (事業) 本会は、前条の目的達成のために次の事業を行う。

1. 親睦を目的とした集會等を行うと共に、同期会の開催を促進する。
2. 会報を発行する。
3. 母校への協力と必要に応じた援助を行う。
4. その他、本会の目的に必要な事業を行う。

第4条 (会務年度) 本会の会務年度は、役員任期が始まる年の6月1日から翌年の5月31日までとする。(ただし、平成24年度は平成24年4月1日から平成25年5月31日までとする。)

## 第2章 会員

第5条 (会員) 本会の会員を分けて次の通りとする。

1. 正会員
2. 特別会員

第6条 (正会員) 正会員は母校卒業生とする。

第7条 (特別会員) 特別会員は母校現職員とする。

第8条 (会員の義務)

1. 会員は本会則を承諾した上で、入会にあたり氏名、住所、連絡先等を本会に届けるものとする。
2. 正会員は、入会にあたり終身会費として10,000円を本会に納入する。

## 第3章 理事・役員等

第9条 (理事・幹事) 本会は会の実務を執行するために理事および幹事を置く。

1. 理事は理事会において正会員の中から選出する。
2. 理事は15名以上30名以内とする。
3. 幹事は各期から若干名を選出する。

第10条 (役員・会計監査) 本会は会の運営のために次の役員および会計監査を置く。

1. 会長1名
2. 会長代理1名
3. 副会長3名(総務担当・財務会計担当・事業担当)
4. 会計監査2名

第11条 (名誉会長) 本会の相談役の代表として名誉会長を置くことができる。

第12条 (役員選出)

1. 会長、副会長は理事会において正会員の中から選出する。
2. 会長代理は会長が必要と判断したときに指名し、理事会の承認を得る。
3. 会計監査は理事会において正会員の中から選出する。

第13条 (役員・理事の職務)

1. 会長は本会を代表し、会務全体を統括する。
2. 会長代理は会長を補佐し、会長に事故ある時は会長の職務を代行する。
3. 副会長は会長および会長代理を補佐し、担当業務を統括する。
4. 理事は幹事を統括し、会員の代表として議案の審議にあたり同時に、会務に必要な職務を分担する。

第14条 (幹事の職務) 幹事は会員との連携を密にするとともに、本会の円滑な運営のために理事会に協力する。

第15条 (会計監査) 会計監査は理事会から独立し、本会の経理を監査する。

第16条 (役員・理事の任期)

1. 本会役員・理事の任期は2ヵ年とする。但し、入会初年度の役員任期は、当該会務年度の終りまでとする。
2. 本会役員・理事は再選されることができる。
3. 本会役員・理事は任期満了に至るまで後任者が就任するまでは、その職務を継続する。

第17条 (補欠役員) 役員が欠けた場合および執行不能となった場合は、直ちに補欠役員を選出する。補欠役員任期は、前任者の残任期間とする。

第18条 (相談役) 本会に相談役を置くことができる。

1. 相談役は、本会の役員・理事経験者の中から、理事会で選出する。
2. 相談役は、会長の求めに応じて会の運営全般について助言を行う。

第19条 (顧問) 本会に名誉顧問並びに顧問を置く。

1. 名誉顧問は母校校長を推す。
2. 顧問は母校教職員の中から適任者を会長が委嘱し、会務の相談にあずかる。

## 第4章 理事会

第20条 (理事会)

1. 理事会は本会の執行機関であり、理事並びに会長、会長代理、副会長および会計を持って構成する。
2. 理事会は必要に応じて会長が招集する。なお、理事の3分の1の署名を持って開催を求められたときは、会長は速やかに理事会を招集しなければならない。
3. 理事会の成立要件は、委任状を含めた理事の3分の2の出席、並びに委任状を含めた出席者の過半数の同意によって議決する。
4. 理事会の議長は会長があたる。なお、議長は議決に加わらないが、同数の場合は議長が決定する。

第21条 (理事会に付議する事項)

1. 理事会は次の事項を作成、審議し総会において承認を得る。  
(1) 会則改定案および細則案

(2) 事業報告および決算(毎年行う)

(3) 事業計画および予算(毎年行う)

(4) 理事、役員、会計監査の選出

(5) 各期幹事の委嘱

2. その他、会の目的達成のために必要と認められた事項の決定を行う

## 第5章 総会

第22条 (開催および運営)

1. 理事・役員改選にあわせて2年に1回ごとに、所在が確認されているすべての会員に通知をして総会を開催する。
2. 総会の議長は会長があたる。
3. 議長は議決に加わらないが、同数の場合は議長が決定する。
4. 総会の欠席者は当日の議決権を議長に委任したものとす。

第23条 (意見の集約)

1. 会員は総会において、議長の指名により自由な意見を述べるることができる。
2. 総会に出席できない会員は書面を持って意見を述べるができる。

第24条 (内容)

1. 総会においては理事会より提出された次の事項を審議し承認を行う。  
(1) 会則の改定  
(2) 事業報告および決算(2年分)  
(3) 事業計画および予算(2年分)  
(4) 理事、役員、会計監査の改選
2. 各事項の承認には、出席者の過半数の賛同を必要とする。

## 第6章 同期会

第25条 (開催)

1. 同期会の開催を同窓会の重要な活動と位置づけ以下の活動を行う  
(1) 同窓会主催の「同期会」を入会した年(卒業した年)の5月第3日曜日に開催する。  
(2) 同期会の開催に当たっては細則に決められた額の補助を行う。  
(3) 必要に応じて、同窓会が中心となる同期会を開くことができる。

## 第7章 経理

第26条 (経費) 本会の経費は、入会の際に納入する終身会費、寄付金およびその他の取入をもってこれにあてる。なお、いったん納入された会費はいかなる理由があってもこれを返還しない。

第27条 (会計)

1. 本会の会計は予算に則って行う。
2. 臨時の支出および予見しがたい予算の不足に対処するための支出については、理事会の議決を経なければならない

## 第8章 個人情報の管理

第28条 (個人情報館に関する説明義務) 同窓会は入会希望者に対し、同窓会における個人情報の取り扱いについて説明する。

第29条 (情報の取得) 同窓会の目的達成のために、学校側の了解のもとに学校から卒業予定者の氏名、住所等を直接取得することができる。

第30条 (情報の使途) 同窓会会則第2条および第3条に示す同窓会の目的に沿ってのみ使用する。なお、同期会、クラス会、クラブOB会等、同窓生の親睦会開催のため、開催責任者から名簿の提供を求められたときは、先方の使途および適切な管理方法を確認した上で提供することができる。

第31条 (情報の管理) 本会が取得した個人情報については会長が厳正に管理する。なお、本人から疑義あるいは削除、訂正の要請があった場合は、本人の意向を尊重する。

第32条 (委託管理) 名簿作成などで業務を第三者に委託する場合は、委託先における管理責任を文書で確認する。

## 付則

第1条 本会運営上の細目に関しては別に細則を設けることができる。

第2条

1. 本会則は昭和37年9月1日より施行する。
2. 昭和32年3月1日施行の会則は本会則施行の日より廃止する。
3. 本会則は昭和46年5月一部改訂
4. 本会則は昭和48年5月一部改訂
5. 本会則は昭和52年5月一部改訂
6. 本会則は昭和62年5月一部改訂
7. 本会則は平成7年5月一部改訂
8. 本会則は平成17年5月一部改訂
9. 本会則は平成23年4月一部改訂
10. 本会則は平成23年6月一部改訂(名称変更)
11. 本会則は平成24年3月一部改正(総会規定変更)

付記(会長在任期間)

初代	1957.4.1 ~ 1959.3.31	阪柳 定男(1期)
第二代	1959.4.1 ~ 1962.3.31	松村 祥男(1期)
第三代	1962.4.1 ~ 1963.3.31	阿部 紘(2期)
第四代	1963.4.1 ~ 1968.3.31	阪柳 定男(1期)
第五代	1968.4.1 ~ 2007.3.31	松村 祥男(1期)
第六代	2007.4.1 ~ 2011.3.31	小後摩 基(5期)
第七代	2011.4.1 ~	石川 直弘(9期)



## 平成24年度 同窓会表彰

佐藤 秀成 (陸上部3年) 関東高等学校陸上競技大会 8種競技 10位

中島 万里那 (陸上部2年) 関東高等学校陸上競技大会 800m 出場  
 関東高等学校選抜新人陸上競技大会 800m 2位 1500m 7位  
 日本ユース陸上競技大会 出場  
 日本ジュニア室内陸上競技大会 8位

五味 智香子 (ハンドボール部3年) 国民体育大会関東ブロック大会 神奈川県選抜選手として出場



## 平成25年度教職員異動

### 離任者教職員 (高校)

職種・教科	氏名	異動先	職種・教科	氏名	異動先
校長	菱刈 範之	並木中学校	英語	栗原 順子	金沢高校
副校長	金子 一雄	川和中学校	英語	山崎 千賀子	横浜サイエンスフロンティア高校
地歴・公民	平田 誠一	退職	養護	近藤 真寿美	みなと総合高校
国語	市川 綾子	東高校	数学(臨)	武部 史子	戸塚高校
国語	元島 肇	戸塚高校	理科(臨)	澤岨 里奈子	東高校
国語	野口 真昭	金沢高校	保健体育(臨)	青木 かな	柏陽高校
数学	市川 恵	東高校	英語(臨)	安井 サチ子	南高校 非常勤
数学	矢尻 えみ子	桜丘高校	AET	デビッド ロイド	桜丘高校
数学	川味 敏志	横浜総合高校	事務職員	絹谷 実	泉土木事務所
保健体育	伊藤 陽介	横浜サイエンスフロンティア高校	技能職員	村上 光男	南高校 管理人
保健体育	有賀 絹代	横浜サイエンスフロンティア高校			

### 着任者教職員 (高校)

職種・教科	氏名	前勤務先	職種・教科	氏名	前勤務先
校長	鈴木 英夫	神奈川中学校	英語	小林 真澄	金沢高校
副校長	手島 史喜	鶴見中学校	英語	塩島 梨奈	新任
国語	間淵 美栄	新任	養護	柳沼 恵子	戸塚高校(定時)
数学	平塚 貴之	桜丘高校	国語(臨)	犬飼 絢子	桜丘高校
数学	木下 侑紀	新任	保健体育(臨)	荒川 有希子	横浜サイエンスフロンティア高校
理科	古屋 好祥	戸塚高校	AET	サイモン ラック	旭高校
理科	庄司 智浩	東高校	事務職員	中川 まゆみ	教育委員会
保健体育	簡 優好	横浜サイエンスフロンティア高校	技能職員	土井 正人	新任

### 着任者教職員 (中学)

職種・教科	氏名	前勤務先	職種・教科	氏名	前勤務先
国語	福田 由美	根岸中学校	数学	宇賀神 理恵	日吉台中学校
社会	青木 裕介	吉田中学校	数学	平田 優志	新任
理科	蛭田 真生	汲沢中学校	英語	阿部 卓	新任

## 同窓会 役員・理事 紹介

役職	期	氏名	役職	期	氏名	役職	期	氏名
会長	9	石川 直弘	理事	13	岩本 しのぶ	理事	26	山田 裕之
会長代理	13	桐生 秀昭	理事	13	尾崎 由朗	理事	43	田村 勇人
副会長	14	菊地 晶江	理事	17	小林 保	理事	45	只木 聡
副会長	18	山形 和弥	理事	20	内藤 一彦	理事	54	千葉 飛鳥
副会長	18	高田 桂子	理事	23	比留川 秀一	監事	10	北見 昭八
理事	5	山崎 敏昭	理事	26	粕谷 正伸	監事	30	荒川 尚美

南高同窓会 Web Pageのご案内 <http://nanko-ob.com>